

2年英語コース プレゼンテーション大会

令和7年3月21日（金） 米原学びあいステーション

英語の授業「実践コミュニケーションⅡ」における英語プレゼンテーション学習の総まとめとして、チームを組み、社会問題について探究活動を行い、社会に変革を起こす取組みに挑戦しました。探究した内容をパワーポイントにまとめ、英語で6分間の発表をしました。どのチームも写真や映像を巧みに使ったスライドを作り上げると共に、英語による発表練習を積み重ねて本番に臨みました。当日は、運営を手伝ってくれた卒業生や1年英語コース生、また保護者の前で熱のこもった発表を行うことができ、会場は大いに盛り上がりました。

入賞者は以下のとおりです。

順位	名前	タイトル
1	Hashimoto Reika & Higuchi Miyu	Dividing Housework Equally between Men and Women
2	Kitamura Juneyat & Matsumoto Reiya	Can We Get Along with Others?
3	Kadoike Honoka & Takasugi Miku	Reducing Food Waste
3	Mizuno Yuma & Kondo Kaho	Preserving Lake Biwa as Our Treasure

（3位が2チームでした。）

発表の様子



1位を受賞したのは「男女間の家事分担について」というテーマの発表です。

現代社会において女性の家事負担が大きいという問題について、データやアンケートを用いて実情を述べ、どうあるべきかという解決への提案がなされました。わかりやすいスライドと共に、二人の掛け合いがスムーズで、練習の成果が十分発揮できていました。

『先輩からのメッセージ』タイム



審査結果が出るまでの待ち時間を利用し、今春卒業した英語コース生が、3年間を振り返って思うことを語ってくれました。

「課題や行事の準備で、何度も心が折れそうになったけど、みんなで助け合って乗り越えられた。」
「頑張ったから今の自分がある。」
「たくさんの大切なことを学ぶことができた。」
「米原高校の英語コースで学んだことは最高の財産だ。」
「今やっていることが絶対に後々生きてくるので後輩の皆さんは頑張ってください。」など、多くの励ましのメッセージをくれました。

結果発表&表彰式の様子



審査員は、山岡憲史先生(米原高校英語コース初年度主任&元立命館大学教授)、堀尾美央先生(関西大学高等部教諭)、木瀬えみ里先生(彦根東高校英語科教員)、そして1年5組の生徒の皆さんでした。

表彰式のあと、それぞれの審査員の先生方から講評をいただきました。どのグループも一生懸命に取り組んできた努力の跡が見られるとお褒めの言葉をいただきました。

このプレゼンテーション大会に向けて、2年5組の生徒たちは長期にわたって準備をしてきました。協力、創造、発信という、英語コースの重要な要素がぎっしり詰まった活動が終了しました。この活動をとおして、生徒たちは、また一回り成長したと思います。